

元気いっぱいのお秋



10月3日、にしかわ保育園の運動会が開かれ、この日を楽しみにしていた子どもたちの元気な声が会場に広がっていました。

西川町議会だより

114号

2020.10.15発行

山形県西川町議会



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

町民の生活を守るために……………	2頁
自主財源の減少続く……………	5
令和元年度のお金の使い方は……………	6
決算を踏まえ今後の展開につなげる……………	8
8人の議員が町政をただす……………	10
町内の経済対策を重視……………	19
議会中継をより身近に……………	20
知りたい！聞きたい！……………	22

新型コロナウイルスと豪雨 町民の生活 災害から を守るために

第3回定例会を、9月1日から11日までの会期で開催しました。町からは人事案や条例案、補正予算案、令和元年度決算認定など25議案が提出され、慎重に審議した結果、全て全員賛成で可決しました。議案の一覧と審議結果は4ページの表をご覧ください。
一般質問は8人の議員が12件について行いました。また、議員発議で国に対する3件の意見書の提出を上げ、可決しました。
なお、令和元年度の各会計決算の認定については、本誌5ページから9ページをご覧ください。

新型コロナウイルスと豪雨災害の対策に 6億円超の予算を追加



▶大井沢に行く途中の県道が土砂流入で通行止めに

7月28日に発生した豪雨災害の対応に緊急を要するため、一般会計補正予算第6号は8月7日に町長が専決処分(※)を行い、議会はこれを承認しました。
また、豪雨災害や新型コロナウイルス感染症などの対策に必要な一般会計補正予算第7号が上程され、可決しました。
いずれも町民のみなさんの生活を守るために必要な予算であり、承認や可決にあたっては次のような質疑が交わされました。

新型コロナウイルス関連

第2庁舎の整備

問 第2庁舎会議室の執務室化整備とはどのような内容ですか。

答 総務課長

感染症対策など役場本庁舎の密の状況を解消する必要がある場合に備え、老朽化した網戸の整備や照明のLED化など、環境を整備するものです。

慰労金の給付

問 保育園や病院などの感染症対応職員への慰労金は、国の施策のとおり5万円を給付するのですか。

答 総務課長

町の施設においては保育や医療にかかる職員全員に給付します。町外の施設に勤務されている方はそれぞれの施設から給付されます。

地域経済変動対策とは

問 観光協会地域経済変動対策とはどのような内容ですか。

答 商工観光課長

夏に宿泊割引キャンペーンを実施しましたが、8月中旬までの宿泊客の累計が例年の7割という状況でした。このため秋にも同様のキャンペーンを実施して3000円程度の宿泊割引を行います。

問 月山環境整備運営協議会地域経済変動対策とはどのような内容ですか。

答 商工観光課長

この協議会は、スキーや登山客からの協力を原資に、パトロールや駐車場警備、トイレの維持管理などを外部委託しています。新型コロナウイルスの影響で収入が激減したため、組織の機能維持を図る補助を行います。

豪雨災害関連

カヌーコース被害

問 1000メートルコースのある月山湖に大量の流木が流れ込みました。その復旧にあたっては、沈んでいるものも処理したのですか。

答 産業振興課長

今回の補正予算を計上した後にも被災箇所が確認されるなど、公共施設災害を含め箇所数が増えています。それを踏まえての件数は、農業施設災害が125カ所(うち公共施設災害14カ所)、林業施設災害が133カ所(うち公共施設災害12カ所)です。
今後の国の査定によって必要な金額も変わってくるため、その際にあらためて補正予算を提示します。

志津会館建設を来年度へ延期

7月9日の議会全員協議会で、今年度実施予定だった志津会館整備工事を、地盤改良などの工事が進捗すること理由に延期するとう説明がありました。

今回の定例会で工事の予算取り下げが提示されたのを受け、あらためて志津会館に関する多くの質疑が交わされました。それらを要約してお伝えします。

災害復旧の箇所

問 農林業施設災害復旧費として2億2680万円の補正予算が計上されていますが、これは具体的に何件の事業で、どのあたりの復旧を集中的に行う予定ですか。

答 生涯学習課長

急を要したため湖面に浮いている流木を処理しました。今後は最上川ダム統合管理事務所などと調整の上、コース監視の中でその都度処理を行います。



▶志津駐車場から見た志津会館

問 志津会館の建て替えについて長年にわたり地元地域との協議をされてきたことは認識しています。議会に対する説明もあり、それらを踏まえて3月に整備工事費7200万円の含む今年度の当初予算を全員

賛成で可決しました。建設に賛成であることは変わりありませんが、工事が進んで工期が伸び、事業費も1億円近くまで増えるという事実を踏まえると、このまま現在の場所への建て替えで良いのかという疑問が大きくなっています。誰のための施設を建設するのかという視点に立ち、建設場所のことも含め再度協議をしてはどうでしょうか。

答 町長

これまでの経緯を踏まえ、議会から様々な指摘があったことを地元地域のみならずにも説明し、改めて意見を聞かなければならないと思います。それらの意見を調整した上で来年度予算を組み、3月の定例会に臨みます。

第3回定例会に提出された主な議案 (議員発議)

議案番号	件名・主な内容
発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書
発議第5号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書
発議第6号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

※専決処分とは、緊急を要し議会の開く時間的な余裕がない場合などに、議決すべき事項を首長が決定すること。

自主財源の減少続く

令和元年度の一般会計、特別会計、企業会計の10会計について、決算特別委員会での審査を経て、9月11日の本会議で審議し、全会計決算を認定しました。決算報告の内容は町広報紙「NETWORKにしかわ10月号」で詳細に紹介されています。それを参照していただき、議会だよりでは、知っておくべき決算のポイントを紹介いたします。

令和元年度 決算の ポイント

財政の指標などを確認

標準財政規模	30億9860万円
一般財源の標準的な大きさを示す。	
財政力指数	0.244
1に近いか超えるほど財政に余裕がある。	
経常収支比率	92.2%
100%に近いほど自由に使えるお金が少ない。	
実質公債費比率	9.6%
25%以内は健全な状態にあることを示す。	
将来負担比率	5.7%
350%以内は健全な状態にあることを示す。	
基金残高合計	31億3977万円
町の貯金。様々な基金がある。	

歳入総額 50億8425万円

町税全体で、6190万円の減
人口（納税者）の減少や法人の廃止等
県支出金が2億8045万円の増
畜産関係の特別対策事業費補助などの増
地方交付税が2237万円の増

一般会計歳入の
ポイント

歳出総額 48億7344万円

土木費が3億7827万円の減
町営住宅整備の終了など
農林水産業費が2億6173万円の増
畜産クラスター事業の増など
教育費が1億183万円の増
小中学校施設整備事業の増など

一般会計歳出の
ポイント

行政経費の節減と効率化を 町監査委員の決算審査意見【抜粋】



決算審査意見を町長に提出

町の財政状況
① 一般会計歳入
町の独自財源である町税は、人口の減少や法人の事業所廃止などにより年々減少し7億5000万円を割る状況です。しかし、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助などの県支出金の大幅な増のほか、国庫支出金や地方交付税、地方特例交付金の増もあ

今後の財政運営

② 一般会計歳出
普通建設事業費において、住宅や道路の整備事業が減ったものの、西川町畜産クラスター事業や学校施設整備事業などが増えたことにより、全体的な増加となりました。

今後の財政運営
人口減少と少子高齢化が進む中において、取り組まなければならぬ課題も多く、財政運営については、今後とも厳しい状況が続くものと見込まれます。自主財源である町税については、的確な賦課、徴収に努めるとともに、国、県に対しては、地方交付税など安定的な財政運営に必要

な財源が確保できるよう、所要の措置を講じることを強く働きかける必要があります。今後は高齢者医療などの社会保障費やインフラ老朽化対策などの社会資本整備費の増加が見込まれます。また、現在も終息の見えない新型コロナウイルス感染症への対応や、頻発する自然災害の復旧など、想定外かつ突発的な支出を要する事態が考えられます。これらを踏まえ、政策についてはこれまで以上の選択と集中を図り、事務事業に関する点検や公共施設等の適正な管理など、行政経費の節減・効率化に一層努めてください。

西川町監査委員
高橋 将（意見）
荒木 俊夫（議選）

第3回定例会に提出された主な議案

議案番号	件名・主な内容（事業費100万円以上のものなど）※氏名の敬称略
同意第6号	人権擁護委員候補者の推薦 高橋千鶴（吉川） 前任者の任期満了に伴い推薦する。
同意第7号	町教育委員会委員の任命 阿部仁（間沢） 前任者の任期満了に伴い新たに任命する。
同意第8号	町有林運営委員会委員の任命 澁谷孝太郎（大井沢） 前任者の任期満了に伴い新たに任命する。
承認第4号	2年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分承認 54億4510万9000円（3億4346万4000円増額） 豪雨災害対策 仁田山放牧場連絡道復旧工事222万2000円、クアの道一本ブナコースおよびブナの泉埋設導水管修繕工事243万円、町単独土木施設等復旧工事4033万円、公共土木施設災害復旧測量設計委託7573万8000円、農業用施設公共災害復旧測量設計委託3150万円、農業施設災害復旧工事650万円、農地および農業用施設にかかる農林業災害復旧事業補助1961万円、林業施設災害応急措置委託および公共災害復旧測量設計委託7550万円、林業施設災害応急復旧工事3260万円、林道および作業道等にかかる農林業災害復旧事業補助金5557万5000円、カヌー1000mコース流木処理作業委託50万5000円など
議第43号	財産の購入 小学校及び中学校の携帯型情報端末305台を1691万1950円で購入する。
議第44号	町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の設定 国からの交付金を財源とする利子補給や保証料補給など経済対策を行う基金を設置するため条例を新設する。
議第45号	町手数料条例の一部を改正する条例の制定 個人番号通知カードの再交付手数料を廃止するため条例を改正する。
議第46号	町総合交流促進センター条例等の一部を改正する条例の制定 月山銘水館や水沢温泉館などの指定管理者の管理基準を改めるため条例を改正する。
議第47号	2年度一般会計補正予算（第7号） 61億3845万3000円（2億9334万4000円増額） 新型コロナウイルス感染症対策関連1億3054万6000円増額 役場第2庁舎議室の執務化整備に伴う工事316万7000円、町ホームページスマートフォン対応およびテレワーク環境構築業務委託427万7000円、自然水工場床面塗装修繕244万2000円、水沢温泉館木造劣化診断委託199万7000円、自然水工場紫外線殺菌装置設置および大井沢温泉館空調換気設備設置工事381万円、県新型コロナウイルス感染症対応職員慰労金給付161万6000円、町産品販路拡大支援補助321万2000円、町民1人につき3000円の共通商品券を交付する飲食小売店等共通商品券交付事業1670万6000円、町商工業団体等支援事業補助103万円、起業支援事業補助300万円、小規模事業者持続化事業補助256万円、小規模事業者商店等リフォーム補助200万円、持続化給付500万円、融資制度等利子補給および保証料補給金積立4452万7000円、観光協会地域経済変動対策補助916万円、月山環境整備運営協議会地域経済変動対策補助300万円、災害発生時の感染防止対策資器材購入135万3000円、GIGA（ギガ）スクールの端末整備924万3000円、小学校放送設備更新および交流室照明取替工事114万4000円、西川交流センターあいべ照明器具交換工事106万7000円、公民館等施設整備事業補助430万円など 豪雨災害対策2億3043万9000円増額 町道路路面補修工事100万円、町民スキー場給水ポンプ小屋災害復旧工事199万3000円、農業施設災害復旧工事1億500万円、林道応急復旧工事1億2180万円など 上記以外6764万1000円減額 介護保険特別会計繰出197万7000円、月山の秋イベント事業補助100万円、社会資本整備総合交付金事業工事400万円組替え、志津会館整備事業7394万2000円減額、町民体育館入間分館屋根雨漏り修繕工事請負費102万1000円など
議第48号	2年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 7億5709万8000円（1034万8000円増額） 元年度決算等に伴う基金積立金349万2000円、元年度精算による返納金182万6000円、一般会計繰出金479万円など
議第49号	2年度病院事業会計補正予算（第1号） 収益的収支 7億4191万2000円（857万1000円増額） 感染症対策支援事業費補助金交付事業482万1000円、感染症対応従事者慰労金375万円 資本的収支 1731万8000円（1156万8000円増額） 感染症対応の診察室整備等に要する費用1156万8000円

令和元年度のお金の使い方は

決算 令和元年度会計 特別委員会 【担当課説明】

令和元年度の各会計決算の認定は、決算特別委員会（議長と議選監査委員を除く7名で構成）での審査に付託されました。委員会では、9月1日から4日間にわたり各課の決算説明を受け、質疑を行いました。その主な内容を紹介します。

森林環境譲与税

問 昨年度から始まり歳入で840万円程ありますが、その使途に制限はありますか。

答 総務課長
使途についての制限は基本的にはありません。森林の調査、整備を行なっていく上で、森林に関わる事務事業であれば問題ないと理解しています。今後、内部で計画を立てた上で有効に活用していきます。



▶整備された杉林

ふるさと納税

問 昨年度から西川町総合開発(株)に業務を委託していますが、どのようなメリットと効果がありますか。

答 政策推進課長
職員の業務軽減につながり、その分を政策事業に振り向けることができている。また、総合開発(株)もギフトやシステム会社と連携して地場産品を掘り起こし、事業者の商品取り上げを行なっています。今後も積極的なシステム運営を指導して行きます。



▲返礼品として人気の出そうな月山malt (モルト) ポークのみそ漬け

太陽光発電の利用

問 役場と水沢温泉館の太陽光発電施設はどのくらい発電していますか。役場や温泉館でその電力を使用できないのですか。

答 町民税務課長
役場では9279キロワットアワー、水沢温泉館では5700キロワットアワーをそれぞれ発電しています。充電による蓄電を優先し、余った分をそれぞれの施設で使用しています。



▶水沢温泉館の太陽光パネル

AEDの利用

問 AEDは町内にどれくらい設置されていますか。また、施設の屋内に設置している場合は鍵を開けなければならず、自由に使えません。屋外への設置を検討すべきではありませんか。

答 健康福祉課長
健康福祉課で管理しているAEDは、大井沢、志津、岩根沢、入間、本道寺、小山の6カ所にあります。町内全体では21カ所の施設にあります。夜間は施設管理者がカギを管理しているのので、緊急の場合の対応を検討していきます。



▲屋外に設置されているAED (大井沢温泉館)

ブライダルサポート

問 ブライダルサポート事業は具体的な実績に乏しく、予算執行率も14.3パーセントにとどまっています。事業内容を根本的に変えるべきではないですか。

答 健康福祉課長
結婚は個人の考え方による部分が大きく、事業の効果が上がっていないのは事実です。事業の見直しを行うとともに、県や村山地域など広域的な取組みにより進めていきたいと考えます。



▶ごごまで関わるべきなのか

月山ペアリフト

問 リニューアル調査の結果はどのようなものでしたか。

答 商工観光課長
各省市立ち会の下、姥沢駐車場から上駅まで一気に架けられないかなどを調査し、概算も出ています。ただし、多大な経費がかかることから今後検討委員会を立ち上げ、リフトやロープウェイ、ゴンドラ、その他施設も含め検討していきます。



▶姥沢駐車場から月山ペアリフトまでは遠い

福寿館の牛糞は堆肥に

問 福寿館を増築し、今後、牛の頭数も増えますが、牛糞の利用、し尿処理などはどうなっていますか。

答 産業振興課長
町の畜産クラスター協議会で話し合っています。全て完熟してさらさらした臭いのない堆肥として、町内の農家の皆さんに利用していただいています。年に3000トンすべて供給していて、牛舎にたまるなどということはありません。



▶山のようにある堆肥

廃校施設維持管理費

問 旧水沢小及び旧大井沢小のそれぞれの維持管理費はいくらにかかっていますか。

答 学校教育課長
光熱水費や通信費、委託料、工事請負費など令和元年度は、旧水沢小は251万円、旧大井沢小は271万円、計552万円となっています。ただ、旧大井沢小において高圧ケーブル入替工事98万円ほどがあり、例年より増額となっています。



▶旧大井沢小学校

町民スキー場の補助金

問 町民スキー場は少雪のために3日しか稼働しませんでした。索道事業運営補助金を全額交付するのはなぜですか。

答 生涯学習課長
この補助金は、スキー場運営に不可欠なリフト稼働に関するものです。営業日数は少なかつたのですが、専門的な職員の配置が必要で、いつ降雪があるかわからず待機しなければならぬため、全額を交付しました。



▶今年2月7日の町民スキー場

整形外科診療

問 昨年度から整形外科診療が始まりましたが、収益的にはどうなっていますか。

答 町立病院事務長
経費は医師の人員費だけですので、収入の方がかなり上回っています。人件費の倍以上はあるものと思います。また、新たな診療科目ということで町民の方々に喜ばれていると考えています。



▶整形外科診療の様子

決算を踏まえ 今後の展開につなげる

決算 令和元年度会計 特別委員会 【審議・採決】

9月10日、議場で決算特別委員会を開催し、令和元年度の各会計決算の認定について、審議・採決を行いました。主な質疑の内容を紹介いたします。

集落支援員の効果等

問 元年度は町内2つの地区にそれぞれ1人ずつ集落支援員が置かれていましたが、その効果と今後の課題についてどのように考えますか。

答 政策推進課長
担当の各地区に潜在化している課題を掘り起こし、活動を通じて今後のコミュニティのあり方を地区の方々と意見交換していただきました。これらの取り組み経過を踏まえ、今後のコミュニティ支援策を検討しています。

水の文化館の方向性

問 水の文化館の活用については多くの課題があります。施設の改修だけでなく湖面利用も含めた月山湖周辺全体の今後の方向性をどのように考えていますか。

答 建設水道課長
建設から30年経過し、建物には経年による傷みが見られます。月山湖周辺は都市公園化を進めるとともに、今後の利活用のあり方を、プロジェクトを組んで検討しているところです。

東北横断道の整備

問 期成同盟会の会費の支出だけで具体的な動きが見えませんが、広域観光の上では高速道路網への接続が非常に重要であり、そのためにどのような取組みを行なうてきましたか。

答 町長
国は全国的にも縦貫道の整備を優先してきましたが、ある程度めどが付き、横断道の重要性が認識されてきています。町では月山ICから湯殿山ICまでの区間の早期高速化について、以前から県とともに国へ要望書を提出しています。

個人番号カードの普及

問 マイナンバーカード（個人番号カード）の普及がなかなか進まないことをどのように捉えていますか。

答 町民税務課長
マイナンバーカードに対応できるサービス为国が計画的に進めていくことになっていきます。例えば保険証として使用する場合、医療機関でもカード専門の端末を整備する必要があるので、課題があることも認識して、今後もPRに努めます。

里山の整備と保全

問 山林に残された伐根や不良木が7月の豪雨災害で大量に流出し、大きな問題となっています。こうした伐根などの処理についても、みどり環境税交付金を活用して里山林整備の事業をできないですか。

答 産業振興課長
この事業は森林の景観保全のために、主に県道の脇を整備しています。不良木や伐根処理については国の制度を使って整備してはどうかと考えます。



▶吉川地区組織体制整備部会



▶多くの課題を抱える水の文化館



▲月山ICの入口



▲マイナンバーカード（見本）



▶沼山地区の里山林整備箇所

体育協会への期待

問 町民の生涯スポーツ推進には体育協会の組織の底上げが必要だと思えます。団体としての運営が困難になつてきているところもある中、この件をどのように考えますか。

答 町長
町民の心と体の健康づくりにおいて体育協会の役割は重要であり、期待しています。加盟団体間の温度差も踏まえ、補助金での支援だけでなく町として何ができるのか、健康づくりに関するプロジェクトの中で検討を進めています。

中学校の放課後学習会

問 学習生活指導補助員の役割という点での質問ですが、受験を控えた中学3年生の学習会などを放課後に実施していますか。

答 教育長
以前の補習授業のような受験対策だけでなく、一定の学力が身につくようにサポートする「未来塾」を行なっています。教員の資格を持つ学習生活指導補助員や講師に指導をお願いしています。

2期工事の判断

問 みどり団地の2期工事については決算特別委員会のほか一般質問などでも質疑が交わされましたが、今後の事業実施をどのように考えていますか。

答 町長
様々なニーズに答えられるような、これまでの制約にこだわらない楽しい住宅団地整備ができればと考えています。具体的なことは検討中で、今年度中に結論を得て、できれば来年度予算に組み込みたいと思います。



▶スポーツで健康づくり



▶西川中学校の教室



▶2期工事予定地（平成28年10月撮影）

本会議及び決算特別委員会における会計毎の決算認定状況

会計	認定の状況		
	本会議	予算特別委員会	
一般会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）	
特別会計	国民健康保険会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	公共下水道事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	農業集落排水事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	寒河江ダム周辺施設管理事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	後期高齢者医療会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	介護保険会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	宅地造成事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
企業会計	病院事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）
	水道事業会計	認定（全員賛成）	認定（全員賛成）

一般質問

そこが聞きたい

8人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。議会だよりでは、質問と答弁の内容を要約してお伝えしています。



▲今回もマスク着用のまま会議に臨みました

質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員 P11
 - 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 佐藤 仁 議員 P12
 - 1 今後の医療と介護の方向性について
 - 2 第6次西川町総合計画『後期基本計画』について
- 菅野 邦比克 議員 P13
 - 1 区管理の大堰改修や災害復旧対応について
 - 2 ケーシーフレーム株式会社とその後の折衝経過は
- 佐藤 幸吉 議員 P14
 - 1 観光立町の取り組みについて
 - 2 地域を守るためしっかりした人口対策を
- 大泉 奈美 議員 P15
 - 1 健やかに安心して暮らせるまちづくりの検証
- 佐藤 光康 議員 P16
 - 1 災害に強い町づくりをめざして
 - 2 町職員の力を十分に活かした町づくりを
- 佐藤 耕二 議員 P17
 - 1 7月28日の豪雨災害を考える
- 伊藤 哲治 議員 P18
 - 1 今後の町政運営をどの様に担っていくのか改めて問う

傍聴席からひとこと 【工藤 キクエさん/沼山】

久しぶりに9月の定例議会を数人で傍聴する機会を得ることができました。程よい緊張感の中、身の引き締まる議場です。学校も統合になり、町営バスの運行など町の取り組みや、議会のご努力を身近にうれしく感じています。これからも町民の声や思いがしっかり町へ届きますように。

※第3回定例会の傍聴者は延べ19人でした。

新型コロナウイルス感染症対策について

町長 今後も積極的に取り組む



荒木 俊夫 議員



生命・生活・経済に大きな影響を与え、その終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症について、今後も積極的な対策を行うために質問します。

日常・学校生活

問 日常生活や学校生活についてどのように取り組めますか。

答 新生活様式を取り入れた日常生活について指導、広報していきます。学校では3密を避ける対策を取っています。また、国のGIGAスクール構想(※)により、全ての児童生徒がネット授業を受けられるよう1人1台の情報端末を整備します。

問 避難所における避難所対策に、どのように取り組めますか。

答 予防対策を実施するための広報と、資料の配布をしていきます。



▲4月7日から5月1日まで緊張感で実施された検温・問診

町立病院

問 町立病院での対策とPCR検査、季節性インフルエンザの予防接種の対応はどうなっていますか。

答 感染症が疑われる患者に対する専用の診察スペースを整備します。ただし、PCR検査はできません。例年11月から実施している季節性インフルエンザの予防接種は、3密を避けるために9月末から実施していきます。

経済

問 新型コロナウイルス感染症に関する事業廃止はありますか。また、今後も積極的な経済対策に取り組む必要があると思いますが、どのようなことを実施しますか。

答 事業廃止はありません。今後の経済対策としては、全町民に3000円の地域振興券の交付を予定しているほか、事業対策支援チームによる事業所訪問も継続して実施していきます。

誹謗中傷・風評被害

問 誹謗中傷や風評被害対策に、どのように取り組めますか。

答 差別や偏見などがないよう、児童生徒に対しては道徳教育や人権教育などを行うとともに、保護者などへも広報を徹底します。

問 入店者や宿泊者が増やすために安心して入店できる店舗であることを積極的にPRすべきではないですか。

答 感染防止対策を行う店舗であることをPRできる看板等の整備を検討します。



▶5月に配布された宿泊飲食商品券

8人の一般質問

8人の一般質問



佐藤 仁 議員

今後の医療と介護の方向性について

町長 今後も安全・安心の砦として病院を堅持していく



問 国の地域医療構想を踏まえた西村山地域の病院統廃合や病床削減の話がある中、今後の方向性をどう考えますか。

答 今後も町民の安全・安心の砦として堅持していきます。今後、西村山地域の病院との連携は「町立病院のありかた検討委員会」を設置して検討していきます。

問 コロナ禍により後期高齢者の健康診断が中止されました。その理由や今後の方向性など町民に対する丁寧な説明が不足しているのではないですか。

答 配慮不足はお詫び致します。当面は外来診療で対応し、健診は来年度の早い時期をめどに再開したいと考えています。

問 認知症患者のサポート 町に304人の認知症サポーターが増加が懸念される中、有償ボランティアなどの仕組みづくりや新たな施設の招致も考えるべきではないですか。

答 デイサービスの活用や利用者数を踏まえ、施設の整備を含め高齢者を見守る体制の強化を図ります。



▶地域包括ケア病床に転換した病室

問 地域包括ケア病床導入計画の現状はどうなっていますか。

答 8月24日に申請受理通知があり、9月1日より病床の開設が可能になりました。

区管理の大堰改修の対応について

町長 全体の見直しを図る

7月28日の豪雨による被災箇所を復旧に関して次の質問をします。

区管理の大堰改修対応

問 区が管理する大堰を改修するには財政負担が大きすぎるため、町の対応を検討できませんか。

答 人口減少により共同作業も難しくなっています。全体の見直しを図り対応を行なっていきます。



▶旧西山小学校下の水路に設置された柵と水門

問 海味第3町内会の水路の柵の許容量を超える大雨が降りました。見直しの予定はありますか。

答 今回の豪雨災害で中小の水路、特に取水口の被害が多くなっています。全体的な対応の中で検討をしていきたいと考えます。

町民のための健診を

問 コロナ禍により後期高齢者の健康診断が中止されました。その理由や今後の方向性など町民に対する丁寧な説明が不足しているのではないですか。

答 配慮不足はお詫び致します。当面は外来診療で対応し、健診は来年度の早い時期をめどに再開したいと考えています。

認知症患者のサポート

問 町に304人の認知症サポーターが増加が懸念される中、有償ボランティアなどの仕組みづくりや新たな施設の招致も考えるべきではないですか。

答 デイサービスの活用や利用者数を踏まえ、施設の整備を含め高齢者を見守る体制の強化を図ります。

警戒区域指定

問 急傾斜地崩壊危険区域の指定はどうなっていますか。また、受益者の負担の見直しはありますか。

答 指定基準は、斜面の高さが5メートル以上、勾配が30度以上で、崩壊の危険の生じる恐れのある人家が5戸以上です。受益者負担は法律で定められており、変える予定はありません。

問 急傾斜地崩壊危険区域のように、県が災害防止工事を行い、区が管理する形態にできませんか。

答 復旧にかかる区の費用負担は大きく、今後の地域づくりにも関わってきますので、全体的な検討をすべきだと考えています。

後期基本計画について

町長 生き生きと暮らせるまちづくりを目指す

定住人口5000人は

問 5000人が目標ではなく、インフラ整備を行い、生産性を上げることはもちろん、町民一人ひとりがわが町を自慢できなければ人は入ってきません。「ずっと住み続けたい町」と思えるまちづくりを行うことが、結果として5000人確保につながるのではないですか。

答 インフラ整備のハード面もさることながら、ソフト面も十分に考慮し、目標に向け生き生きと暮らせるまちづくりを行なっていきたいと考えます。



▶役場周辺の街並み

相手方の弁護士によると、9月頃に自己破産申立てをする予定で、代表取締役本人の居場所が申し上げられないと言われています。

問 決算での固定資産税滞納額は1100万円を超え、これにケーシーフレーム分も含まれているはずですが、相手方の弁護士にもっと強く申し入れることはできませんか。

答 町としては9月の事態を待ちます。

今後の説明は

問 今後、町民に対してどのように説明するのですか。

答 これまでも、町長と語る会などで説明してきました。今後、議会に対しても議会全員協議会で報告します。

ケーシーフレーム(株)とその後の折衝経過は 町長 議会全員協議会で報告する

折衝経過

問 3月の定例会以降、何回くらい連絡を試み、その結果はどうでしたか。

答 町税関係の通知書等は、4月と5月、7月にそれぞれ代表取締役へ送り、届いているものとみられます。

今後の説明は

問 今後、町民に対してどのように説明するのですか。

答 これまでも、町長と語る会などで説明してきました。今後、議会に対しても議会全員協議会で報告します。

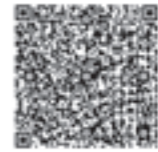


菅野 邦比克 議員



佐藤 幸吉 議員

答 リピーターになっ
てもらうためには
大変重要です。手作
りメッセージを掲示
できる看板が網取に
2カ所あり、新しい
看板も陸合に設置
しています。外国語
併記を含め看板の
活用により町民意
識の醸成も図って
いきたいと思います。



問 本町を訪れた外国
の方々の交流会に
町民の参加が少な
いと聞きます。どの
ような開催案を行
なっていますか。
答 また、交流会で
は太鼓や踊りなど
による文化交流も
行なっていますか。

問 台湾師範大学との
交流やインバウン
ドで訪れる観光客
に対し、外国語併
記の看板や国旗の
掲出で歓迎し
てはどうか。

歓迎の施策は

答 町国際交流協会の
皆さんからチラシ
を作ってもらった
り、お知らせの周
知を行なったりし
ています。交流会
では太鼓演奏を
披露したこともあり
文化交流は非常に
大切だと考えてい
ます。

問 小学校や中学校と
はどのような交流
を行なっていますか。

答 台湾の南湖小学
校の児童が西川小
学を訪問した際
は、歓迎会や給食
を通じて交流し
、姉妹校の締結
も行いました。

台湾師範大学の皆
さんが来町した際
は、西川中学校の
生徒と英会話で
交流しました。



西川小で一緒に食事をしながら交流(令和2年1月撮影)

問 昨年9月の一般
質問における町長
の答弁の中で、人
口500人を確保す
ることは難しいと
の見解がありました
。5000人を確保
するための施策の
展開は、どう進め
るのですか。

人口確保の施策は

答 周年農業の確立
や農業生産力の向
上への取り組み、
商工業新規事業等
への支援、通年観
光の確立を進め
ます。

また、健康づくり
運動やスポーツへの
取り組み推進、地
域での支え合いの
仕組みづくりを進
めます。さらに、
町内に住み



問沢地域の街並み

**町長 地域を守るため
しっかりと人口対策を
各種の取組みを重ね
相乗効果を生み出す**

続けられるような
住宅施策や、公共交
通体系の見直しを
進めます。これら
の取り組みが重なり
合い、相乗効果を出
していくことが、
町の人口確保につ
ながるものと考えて
います。

**健康づくりに安心して暮らせる
まじゅりぐりの検証**

町長 効果的な指導、改善を進めていきたい

新型コロナウイルス
感染症が終息しな
い中で、町民の健
康づくりや防災対
策について質問
をします。



問 介護認定を受け
ていない高齢者
に対して、健診の
保健師による訪
問勧奨をしてく
れますか。

健康づくり

答 郵送や電話によ
る勧奨はしてきま
した。今後、保健
師による勧奨を
できるだけ改善
していきたいと考
えます。

問 健康診断の「さ
がえドック」につ
いて、午前中で終
了することはでき
ますか。

答 健康診断の項目
は契約で取り決
めており、来年度
の契約に向けて
内容を検討して
いきたいと思
います。

寒河江市にある総合健診センター



問 各課が連携し、
万歩計を使ったウ
ォーキングの推
進や、体組成計
(※)による運動
効果測定の仕事
作り、健康手帳
の配付などを
実施しては
どうですか。

答 保健関係の
プロジェクトを
進めていま
すので、来年度
に向けて反
映させてい
きたいと考
えます。

災害対策

問 7月28日の豪
雨災害において、
避難所開設など
地区防災組織
との連携はど
うですか。

答 災害対策本部
を立ち上げ、連
絡を取りなが
ら避難所を開
設しました。

問 土のう袋と砂な
どどこに保管し
てありますか。

答 総務課危機管理
係で管理し、袋
は現場第2庁舎
の倉庫に保管
しています。大
雨の恐れがある
場合は、主に
建設水道課で
土のうに砂な
どを詰めて準
備をし、現在
も水沢の除雪
ステーション
に砂を詰めた
状態で保管
しています。



除雪ステーションに保管してある土のう

問 今後、町の防
災訓練で土のう
の作り方や避
難所開設の訓
練を行なっ
てはどうか。

答 今後の防
災訓練に反
映させてい
きたいと考
えます。



佐藤 光康 議員

治山対策

問 今回の災害では、山から出た大量の流木が水路をせき止め、濁流があふれ出す例がありました。町の流木災害防止の治山対策はどうなっていますか。

答 砂防堰堤や防護柵などの整備が有効ですが、多額の財政負担が必要で、国や県に要望を行なっています。

地元負担の軽減を

問 町が実施する農地激甚災害の場合は国の95パーセントの補助があり、残りも補助災害復旧事業債を使えば町の負担はごくわずかになるはずですが、地元負担をもっと軽減できるではありませんか。

答 できるだけ地元負担が担えないような形で、0に近づけるようがんばっていきます。

町職員の力を十分に活かして

町長 公共サービスの質の維持向上に努める

新型コロナウイルス感染症や豪雨災害で、町の職員の役割がますます重要になってきています。職員が十分に力を発揮し、町民のためにがんばってもらうため質問します。

問 来年度の職員の採用はどうなっていますか。

答 令和3年度採用予定は現在のところありません。

問 西川町歴史文化資料館や大井沢自然博物館、丸山薫記念館などの館長を生涯学習課長がすべて兼務しています。それぞれに館長を置き、自主的に仕事を進めるべきではありませんか。

答 町民の福祉増進のためにそれぞれの機能増進を図ることは課長の職責だと考え兼務を命じています。

問 女性職員に、職場の心配をせずに安心して子供を産み育てもらうため、産休や育休時の代替職員を確保していますか。

答 年度途中はありませんが、年度当初の人事異動の際に病休や育休などを把握し、業務内容を考慮しながら会計年度任用職員を採用しています。

問 新型コロナウイルス感染症対策で医療従事者の厳しい労働が問題になる中、町立病院の放射線技師は1人で24時間対応を行なっています。近隣の公立病院は全て2人以上の体制です。早急に改善すべきではありませんか。

答 業務量や人件費を考慮して従来から1人に対応していますが、緊急時の業務は町内の有資格者をお願いしています。

災害に強い町づくりをめざして

町長 国や県に対応を要望している

7月の豪雨災害は町にも大きな被害をもたらしました。今回の被害からしっかりと教訓を学び、災害に強い町づくりを目指していかねばなりません。

7月28日の豪雨災害を考える

町長 防災行政無線の使い方を再検討する

7月26日から29日まで断続的に雨が降り続け、累加雨量が志津で285ミリメートル、大井沢で235ミリメートル、海味で191ミリメートルに達しました。その中で感じたことを今後のために質問します。

防災行政無線

問 災害が発生した際の住民に必要な最新の情報がわかりにくいと思います。避難所の開設や道路状況、また避難所の閉鎖などは防災行政無線を活用して住民に伝達してはどうですか。

答 緊急時の防災行政無線の使い方が徹底されていないかと反省しています。今後は、町内全域あるいは地区別に放送での呼びかけを検討していきます。



大井沢の上島地区内の町道被災現場

被災地の確認

問 確認作業を各課それぞれ別にすると効率が悪いので、各課と地元責任者が一緒に実施した方が良くないと思いませんか。

答 それぞれの課が速やかに対応し応急処置をしているので、現在の方法で対応していきます。

川の濁り

問 沢の崩壊等があり、寒河江川やダムの濁りが解消されませんが、国土交通省や県と話し合う予定はありますか。

答 治山治水のため西山山地方開発事業として今後とも要望活動をしていきます。

原因究明

問 特に通行止めとなつた県道の被災箇所は、原因を究明しておかないと今後起こりうる可能性が高いと思われる。町はどのように対応しますか。

答 土壌や地形の問題もあり、専門家の意見を聞きながら県に働きかけて今後の対応を協議します。

戸別受信機

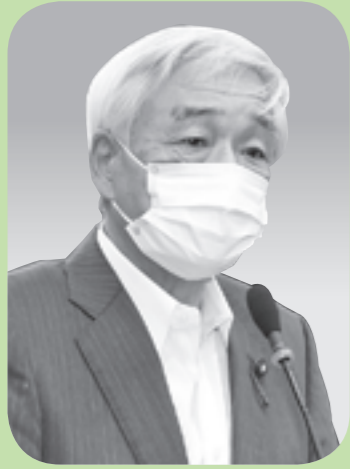
問 設置から3年経ち、乾電池の交換が必要になります。特に高齢者へはどのように周知していきますか。

答 今年に入ってから8月まで不具合の問い合わせが18件ありました。今後、お知らせ等で交換を呼びかけていきます。

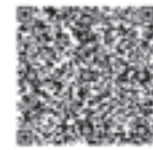
訓練の実施

問 町の総合防災訓練以外に、役場職員のみで災害対策の訓練をしていますか。

答 災害を想定した学習型情報訓練をしています。



佐藤 耕二 議員



町内の経済対策を重視

第3回臨時会を7月9日に開催しました。今回は国の第2次補正予算並びに県の6月補正予算を受けて、新型コロナウイルス感染症対策や町内の地域経済振興のための補正予算などを審議し、全て全員賛成で可決しました。

令和2年 第3回 臨時会

第3回臨時会に提出された主な議案

議案番号	件名・主な内容（事業費100万円以上のもの）
報告第5号	損害賠償の額の決定についての専決処分の承認 町道施設の破損により車両を損傷させたことに対する損害賠償の額を決定する。
議第42号	2年度一般会計補正予算（第5号） 55億164万5000円（5769万8000円増額）
	新型コロナウイルス感染症対策関連 5406万3000円 地酒・地ビール・地ワインの三酒キャンペーン事業費541万9000円、町商工業団体等支援事業補助金100万円、小規模事業者持続化事業補助金1798万2000円、住宅建築支援補助金300万円、持続化給付金1710万円、観光協会地域経済変動対策補助金474万5000円、学校再開に伴う感染症対策・学習機会の保障等の事業費200万円
	新型コロナウイルス感染症対策関連以外 363万5000円 日暮沢小屋駐車場整備事業費245万6000円、月山湖カヌースプリント競技場1000mコース竣工式開催経費116万3000円

注目!
下段参照



▲にぎわいを取り戻し始めた月山（写真提供：奥宮俊祐様/FunTrails代表社員）

答 商工観光課長
宿泊割引キャンペーンへの支援と、観光客の呼び戻しに係る宣伝活動費、環境省の国立公園等誘客推進事業の3つで、月山朝日観光協会に交付します。

問 観光協会地域経済変動対策補助とはどのような内容ですか。

補助の内容は

答 商工観光課長
商工会の会員数から推計していますが、会員ではなくても対象とします。

問 町独自の持続化給付金の該当事業者数をどのように想定していますか。町内に事業所を持つ法人や個人は全て対象ですか。

給付の対象は

一般社団法人の自立化という部分とは直接的に関係ないと思います。

主な質疑

自立化の妨げでは

問 月山朝日観光協会が一般社団法人になり、その予算や事業の計画もある中で、今回のような新型コロナウイルス

ウイルス感染症対策事業が次々と町から流れなくなるのは、今後の自立に向けた事業を行う上で負担になりませんか。

答 商工観光課長
当課職員が協会の業務を兼務して実施しています。あくまでも

町内経済への支援

問 新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない現状をどのように認識し、対応していくつもりですか。

答 戦後最大のマイナス成長という厳しい状況の中、町内経済全般にわたり深刻な状況にあると認識しています。特に宿泊業では大きな打撃を受けています。

問 人の往来が制限される観光業を支えるために実施した対策と、今後の更なる取り組みをどのように進めますか。

答 4月に商工会や月山朝日観光協会、商工観光課担当者による新型コロナウイルス感染症対策支援チームを立ち上げ、困りごとの聞き取りや国・県の補助支援など、事業者に寄り添った取り組みを行なってきました。今後は、徹底した感染予防と経済対策を行い、特に仙台圏との交流拡大の各種取り組みを行います。

問 新型コロナウイルス感染症は、子どもたちの教育環境に大きな影響を及ぼしました。これまで実施した対策とその効果、今後の施策をどのように考えますか。

答 休校時の対策として、4月に実施したオンライン授業や夏休みの短縮等で、授業の遅れはほぼ解消できたと考えています。今後は、文科省のマニュアルに基づき、3密の回避など新しい生活様式に徹底して取り組みます。

教育現場への対応

今後の町政運営

問 新型コロナウイルス感染症と豪雨災害という困難な状況の下、第6次総合計画後期計画の本稼働の年度と位置付けた今年度の町政運営を、町長はどのような決意を持って行なっていくつもりですか。

答 感染症も災害も数年にわたる対策を要します。多額の財源が必要であり、税収の落ち込みなどが懸念されます。

しかし、6次総に掲げた産業振興・若者定住・健康づくりに注力した事業展開を図ることは、町にとって欠かせないものです。今後も、まちづくりは地域づくりが重要であることを基本に進めていきます。

今後町政運営をどのように担っていくのか改めて問う

町長 国や県等の各種助成を活用し町民の生活を守っていく



伊藤 哲治 議員



▲志津温泉の旅館街



▲西川小学校の授業の様子（6月26日撮影）

議会の動き

議会全員協議会

- 7月31日 災害状況確認
- 8月6日 豪雨災害対応ほか
- 9月3日 防災ハザードマップ説明ほか

議会運営委員会

- 8月18日 令和2年第3回定例会の運営

総務厚生常任委員会

- 9月4日 陳情審査、行政評価ヒヤリング
- 9月28日 所管事務調査、行政評価まとめ
- 10月8日 所管事務調査、行政評価まとめ

産業建設常任委員会

- 9月4日 行政評価ヒヤリング
- 10月2日 行政評価まとめ

広報公聴常任委員会

- 9月3日 議会だより114号編集会議
- 9月14日 入稿前編集会議
- 9月24日 第1回校正
- 9月30日 第2回校正
- 10月5日 第3回校正
- 10月7日 第4回校正、校了

決算特別委員会

- 9月1日 決算説明、質疑（特別会計等）
- 9月7日 決算説明、質疑（一般会計）
- 9月8日 決算説明、質疑（一般会計）
- 9月9日 決算説明、質疑（一般会計）
- 9月10日 付託案件の審査、採決



▲答弁に立つ小川町長

議会の傍聴にお越しく下さい

面倒な手続きは
何ありません。
ぜひお気軽に！
**次回定例会は
12月です**
(12月2日からの予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため以下の対策にご協力ください。
①マスクの常時着用
②手指消毒の徹底
③座席の間隔の確保



▲傍聴する中学生

中学生が議会を傍聴

9月8日から3日間にわたり西川中学校2年生の「トライやるウィーク」が行われ、町内各地の事業所などで生徒のみなさんが職場体験を行いました。これは、卒業後の進路や自分の将来について考えるきっかけの一つにするため、毎年行われているものです。

西川町役場でも6人の生徒のみなさんが、町広報紙「NETWORK」にしかわを作っている広報担当者の仕事を体験しました。議会では、役場で職場体験を行なっている生徒のみなさんを本会議などの傍聴にお誘いしており、今回も、9月10日に議場で行われた決算特別委員会を見学していただきました。

昨年から病氣療養中の大江廣康議員が、8月31日付けで議員を辞職いたしました。これにより西川町議会は議員定数10に対し欠員1となります。また、9月1日付けで大江さんから町に対しカメラなど撮影機材をご寄附いただきました。

大江さんは平成27年の初当選から辞職までの5年4カ月にわたり広報公聴常任委員を務められました。今回、議会だよりの取材などに使っていたカメラをご寄附いただいたものです。今後も議会活動の記録や議会だよりの取材に活用いたします。誠にありがとうございました。



▶ご寄附いただいたカメラとレンズ

議員辞職のご報告

議会中継をより身近に

議会映像配信システムをリニューアル



▲スマートフォンでも視聴できます。

西川町議会では、インターネットによる議会中継を平成22年度から実施しています。このほど映像配信システムをリニューアルし、ご要望の多かったスマートフォンでの視聴が可能になりました。令和2年9月以降の議会中継や録画の映像の視聴方法は次のとおりです。

議会中継を視聴
議会ホームページの「議会中継」のページにある「西川町議会・生中継」をクリックすると、視聴用のページに移動します。または、左上のQRコードをスマートフォンなどで読み取って、視聴用のページに接続することもできます。

議会録画を視聴
9月の令和2年第3回定例会以降の録画映像は議会中継と同じページで視聴できます。編集の済んだ分から順次公開を行い、中継した日から概ね1週間後に視聴が可能です。また、議員の氏名やキーワードでの映像検索なども可能です。



▲一般質問の映像を視聴するには議員の顔写真真隣のQRコードから

議会だよりとの連携
今回の議会だよりから、紙面の所々にQRコードを配置しています。これは紙面に関連する録画映像への入口になります。議会だよりでは、紙面のスペースの都合で、議場の質疑や一般質問のやり取りを要約して掲載しています。このため内容を十分にお伝えできない場合もあります。情報として不

情報共有を充実
議会では、今回の映像配信のリニューアルのほかに、ホームページに掲載している情報の迅速な更新や、新たな情報の積極的な公開を心がけています。今後は、議会だけでなく町民の皆さんの声なども紹介できるように心がけ、ホームページを情報共有の中心にしたいと考えています。

議会ホームページ
議会では、今回の映像配信のリニューアルのほかに、ホームページに掲載している情報の迅速な更新や、新たな情報の積極的な公開を心がけています。今後は、議会だけでなく町民の皆さんの声なども紹介できるように心がけ、ホームページを情報共有の中心にしたいと考えています。

ヤマガタイブックス
県内の全ての自治体広報紙などをまとめて紹介しているサイトです。西川町議会だよりも閲覧できます。



知りたい!! 聞きたい!!

～議会だより113号の アンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



I. Sさん

【新型コロナウイルス感染症対策の検証を読んで】

町のコロナウイルス関連の対策についてわかりやすく掲載されていると思います。文字が多くなる部分は仕方ないのですが、それでも写真や個人のインタビューが載っていますし、読みやすくレイアウトされていると感じます。

議会が直接の対策を実施することはできませんので、町に要望したり、取組みを後押ししたりすることを心がけました。今後も町民のみなさんの声を聞きながら、必要な活動を行なっていきます。



S. Tさん

【カヌー 1000m コース竣工を読んで】

見事なカヌー競技場が出来たのですね。一度見学したいと思います。コロナでオリンピックが延期になったのはとても残念です。

月山湖で開催されるはずだった様々な大会が次々と中止になり、今シーズンは1000mコースを活用しきれっていません。来年度の取り組みに期待したいと思います。



I. Tさん

【菅野邦比克議員の一般質問を読んで】

水沢温泉を以前よく利用していました。今はコロナで控えていますが、やはり見た目は大事だと思います。腐食やカビ、虫の見える天井は、あまり清潔感を感じられないので、早めに考えてもらえるといいなと感じました。

どれだけ立派な施設を建てても、必ずリフォームを含む見直しの時期が訪れます。水沢温泉館もその時期に来ていると考えます。



I. Tさん

【佐藤仁議員の一般質問を読んで】

コロナウイルス対策の上で、災害発生時の避難所開設の在り方に対して地区防災組織との話し合いがもっと必要なのでは？

避難所のあり方に対して、今回のコロナと豪雨で大きな課題が突き付けられたと思います。今後も町の取り組みを注視していきます。



ご感想をお寄せください

西川町議会では10名の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい！聞きたい！」という場合は、お気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ：74-2601 住所：海味510番地
メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

《発行・編集責任者》
議長 古澤 俊一
《編集委員》
委員長 大泉 奈美
副委員長 佐藤 光康
委員 菅野邦比克
委員 佐藤 仁

今回の議会だよりから一般質問のページの各議員の顔写真真わきにあるQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただければ、すぐにその議員の質疑の様子や動画で見られるようになりまし。これからの町を担う若い方々に、議会を少しでも身近に感じてもらうための試みです。

議会では8人の議員が町政のいろいろなテーマにわたって真剣な質疑を行いました。気になるテーマは、その動画を視聴の上、皆さんから率直なご意見をいただけましたらこれほど嬉しいことはありません。

(佐藤 光康)

編集後記